

クラスの目標	○基本的な生活習慣や態度が身に付き、自分の力を発揮して自信を持って生活する ○友だちと共通の目標に向かって協力し合い最後までやりとげ達成感を味わう。 ○クラスや異年齢の友だちに対して、お互いに認め合う気持ちをもち一緒に楽しく遊ぶ。 ○遊びを通して、自然事象や社会事象への認識や興味関心を深める。		クラスの保育姿勢	○自分と友だちの思いや考えの違いを認め合い、クラスの中で自分を発揮して自信を持って生活出来る環境を作っていく。 ○子どもの気持ちを十分に受け止め、個々の発達状況を把握し、見通しを持ち今その子に必要な援助をしていく。				
年間区分	I期(4月～5月)		II期(6月～8月)		III期(9月～12月)		IV期(1月～3月)	
ねらい	○進級を喜び新しい生活の流れや役割に意欲的に取り組む ○春の自然に親しみながら戸外遊びを楽しむ。 ○異年齢の友達と知り合う。		○全身を使って夏の遊びを楽しむ。 ○友だちと互いの意見を出し合いながら共通の目的を持って遊ぶ。 ○異年齢の友だちと関わりを深めたり頼られたり世話をする喜びを感じる。		○友だちと話し合い、共通の目的に向かって取り組む楽しさや達成感を味わう。 ○自分の健康に関心を持ちながら生活を進める。 ○身近な自然に親しみ、季節の変化に気付き遊びの中に取り入れていく。		○友だちとお互いの良いところを認め合い自分の力を発揮する中で自信を高め就学に期待を持って生活する。 ○生活の中で文字や数の概念への興味を深める。	
行事	・進級入園の日・幼児集会・クラス懇談会・子どもの日祝い会		・七夕・健康診断・夏季異年齢保育・プール開き、閉い		・運動会・健康診断・幼児遠足・歯科健診・個人面談		・お楽しみ会・節分・ひな祭り・お別れ遠足・お別れ会・クラス懇談会・卒園式	
生命	○わかりやすい生活の流れや環境を作り、意欲的に身の回りのことに取り組めるようにする。(年間)		○梅雨や暑い時期を快適に過ごせる環境を整える共に、一人一人の健康状態をよく把握する。		○病気やけがから身を守ることに知り、自らの身の回りを綺麗に整えられるようにする。		○基本的な生活習慣が身に付き集団生活のルールを守り、見通しを持って活動し自信が高まるようにする。	
情緒	○一人一人の子どもの気持ちを受け止め、自分の気持ちを安心して表現できる環境を作っていく。		○自分や友だちの体の異常を知らせる。 ○異年齢の友だちや他クラス保育者と親しみ、安心して自分を表現し意欲的に活動する。		○失敗や困難に出会ったとき、周りの友達や保育者に気持ちを受け止めてもらいながら自分で乗り越えていく。		○就学に喜びや期待を持って生活する。 ○友達と互いの良いところを認め合い喜びを感じる。	
健康	○戸外で体を十分に動かして遊ぶ。 ○室内・外の危険な場所が分かり気を付けて遊ぶ。(年間)		○手鏡を使いながら、永久歯を丁寧に磨いていく。 ○水分補給や休息、清潔にする理由がわかり、進んで行う。 ○水遊びや、プール遊びでの約束を理解し、安全に楽しく遊ぶ。		○病気の予防に関心を持ち手洗いやうがいをして健康な生活習慣を身につける。 ○目標に向かって意欲的に運動したり、集団遊びを通して体を動かしたりする事を楽しむ。		○冬の健康な生活に必要な習慣が分かり、進んで行う。 ○就学することに期待をもち早寝早起きの生活リズムを身につける。	
人間関係	○年長になった喜びを感じながら異年齢の友だちと関わっていく。 ○友だちとの関わりの中で自分の考えを伝え、相手の気持ちに気付く。		○異年齢の友だちとの関わりの中で思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 ○友だちと互いに意見を主張したり受け入れたりしながら、ルールを元に考え、遊びを発展させていく。		○集団遊びの楽しさがわかりルールや決まりを作ったり守ったりして楽しく遊ぶ。		○友達との関わりが深まり、自分の事も友達の事も大切に思いやる。	
言葉	○生活や遊びのルールや約束がわかりお互いに守ろうとする。 ○行事に参加し、経験を通して自分の役割を認識する。		○行事の中で役割を持ち協力してやりとげる。 ○栽培物の生長や収穫に興味をもち喜んで関わる。		○友だちと目標に向かって挑戦し、協力して最後までやり遂げ達成感を味わう。		○異年齢の友だちに頼られる事を誇りに思い、自信を持って活動する。	
表現	○身近な自然に親しみ、遊びに取り入れる。 ○収穫に期待を持ちながら種まき、苗植えをする。 ○親しみを持って保育士や友だちと挨拶をする。 ○自分の気持ちを相手に分かるよう言葉で伝える。 ○友だちと一緒に唄ったり身体を動かしたりする事を楽しむ。 ○色々な素材を使って描いたり作ったりする事を楽しむ。		○自分の言いたいことを順序だてて話をする。 ○絵本や童話を聴きイメージを膨らませて楽しむ。 ○相手や状況に合わせた言葉を使おうとする。 ○イメージした事や経験した事を色々な素材を使って表現する		○友だちと話し合いお互いの考えを理解し合う。 ○自分たちで遊びの場を飾ったり遊びに必要な物を作ったりする事を楽しむ。		○正月遊びや文集づくりを通して文字や数を積極的に使って遊ぶ。 ○経験してきた自分たちの役割を自信を持って4歳児に伝える。 ○小学校見学を通して就学に見通しをもつ。 ○友だちとの対話を通して気持ちが伝わる心地よさを味わう。 ○詩や言葉のリズムを楽しみ自らも作って楽しむ。 ○興味のある事にイメージをもって言葉や動きで表現したり劇ごっこで演じて楽しむ。 ○卒園する喜びや大きくなった感謝の気持ちを言葉や、歌、制作等で表現する。	
食育	○給食の盛り付けを通して自分の適量を知る。 ○年間を通して食材や栄養について関心を持つ。 ○収穫に期待を持ちながら野菜等を育てる。		○夏野菜を収穫し、クッキングを通して命をいただくことを知る。		○さつま芋を収穫し、異年齢の友達にふるまう。		○就学に向けて一定時間に食べ終える意識を持つようになる。 ○会話を楽しみ、マナーを守って友達と気持ちよく食事をする。	
環境構成配慮事項	○安定した気持ちで生活出来る様に生活の流れや当番の仕事の一つひとつを確認し、分かりやすい環境を作っていく。 ○年長になりはりきっている気持ちを認めながら、個々の状況に合わせて丁寧に対応する。 ○挑戦したい気持ちや役に立ちたい気持ちに無理なく応えられる活動を用意し継続して取り組めるようにする。		○夏の遊びを思いっきり楽しめるよう他クラスと連携し、環境を工夫していく。 ○体調に関しては、家庭とよく連携をとり、水遊びの約束もしっかり確認し安全に遊べるようにする。 ○室内換気、水分補給に留意する。 ○友達との関わりの中で気持ちの行き違いや葛藤に付き合い自分で切り替えが出来る様に援助していく。		○友だちと頑張る姿を認め合い、協力してやりとげ、達成感を共有出来る活動の場を用意していく。 ○自然の中で遊びを満喫出来る機会を作る。 ○活動意欲の高まりに合わせて自信を持って行動出来る様援助する。 ○個々から出たイメージをまとめ、実現できるよう援助しながら、子ども同士の繋がりも深まる様にしていく。		○卒園に向けて気の合う友達との時間や、クラス皆で過ごす心地よさを味わう事を大切にいく。	
家庭との連携	○年間クラス目標と年長になって張り切っている姿を伝え、子どもの気持ちを認めていける様に提案。		○子どもの姿を確認し合う。(個人面談会) ○就学を意識して伝達する力が育まれるよう協力をお願いする。		○友だちと協力し合う姿を具体的に伝え子どもの活動に関心をもってもらいその中で成長を実感し、喜び合えるようにする。		○就学に向けて不安な事は共に考え援助する。 ○クラス皆で卒園を喜び合える事を大切にいく。	
異年齢保育	○進級した喜びを持ちながら年下児に関わる。		○生活を共にする中で、年下児を受け入れ自分の行動を考える。		○ペア一児と関わりを深め、一緒に活動する事を楽しむ。		○思いやりの気持ちを持ちながら年下児と関わり自分の力を十分に発揮する。	